

特別ニーズ教育の国際比較研究（その2）

— イタリア・スペイン・ロシア —

企画・司会 黒田 学（立命館大学産業社会学部）
 話題提供者 平沼博将（大阪電気通信大学工学部）
 黒田 学（立命館大学産業社会学部）
 小西 豊（岐阜大学地域科学部）
 指定討論者 坂井清泰（大阪電気通信大学工学部）

KEY WORDS: 特別ニーズ教育、インクルーシブ教育、障害者権利条約

【企画趣旨】

本シンポジウムは、特別なニーズをもつ子ども（とりわけ知的障害を中心とする障害児）への教育および社会開発（福祉、医療、就労、社会参加）の動向と課題について、国際的な比較研究を行うことを目的としている。

特別ニーズ教育の国際的動向を概観すると、EFA（「すべての人に教育を（Education for All）」）が精力的に取り組み一定の成果をあげつつも、「特別なニーズをもつ子ども」、とりわけ知的障害を中心とする障害児に対する教育・社会開発は、発展途上国を中心に未だ多くの課題を抱えていると指摘せざるを得ない。経済的基盤の成熟度に応じて教育・社会開発が達成されるという基本的前提に立ちつつも、発展途上国においては、EFAは、貧困対策、児童対策、識字率向上の一環にとどまり、特別なニーズをもつ子どもへの教育および社会開発の展開には、制度においても教育内容においても固有の多くの課題が存在している。

1994年にユネスコ「サラマンカ宣言」によってインクルーシブ教育の推進が提案され、その後の各国の教育施策に大きな影響を与えた。インクルーシブ教育の推進は、2006年に国連総会で採択された「障害者権利条約」にも引き継がれている。

また、前回（その1）に引き続き、1990年代以降の「社会主義体制」の崩壊による体制転換および「新自由主義」政策による公的責任の縮小が、特別なニーズをもつ子どもへの教育・社会開発の在り方にどのような影響を与えているのかを考察する。

本シンポジウムでは、以上の課題意識に沿って、イタリア、スペイン、ロシアの特別ニーズ教育、インクルーシブ教育についての現状について、現地調査を踏まえて報告し、国際比較研究の視点から検討する。

【話題提供者の趣旨】

（1）イタリア（平沼 博将）

1970年代からインクルーシブ教育施策を推進してきたイタリアでは、1992年の法律第104号「障害者の援助、社会的統合および諸権利に関する基本法」により、保育所・幼稚園から大学までの全学校段階でインクルーシブ教育が保障されている。本報告では、昨年エミリア・ロマーナ州ボローニャ市等で行った関係機関へのヒアリング調査から、イタリアのインクルーシブ教育、障害者福祉の実情と課題について考察する。発達障害への対応、支援教員の不足、財政難など日本と共通する課題についても比較検討したい。

（2）スペイン（黒田 学）

スペインは、1994年ユネスコ「サラマンカ宣言」に見られるように、特別ニーズ教育、インクルーシブ教育の発信地でもある。スペインのなかでも独自の施策を展開するカタルーニャ自治州を対象に、障害児教育・福祉の実情を調

査した。インクルーシブ教育を推進する上で、学校教育全体の改革、特別な教育的ニーズの把握と専門性の必要性を改めて確認するとともに、障害児のライフステージに沿った総合的な支援施策、学校卒業後の進路保障と社会参加について検討したい。

（3）ロシア（小西 豊）

ロシアの教育学およびその実践は旧ソビエト時代からの歴史的蓄積が社会主義国のみならず資本主義国にも多大な影響を与えてきた。1991年の旧ソビエト連邦崩壊後、そのような歴史的蓄積がロシアにどのように継承され、変化してきたのか、障害児学校・福祉機関等への現地調査（2011～2014年）を踏まえ、検証したい。とりわけ、2012年9月の障害者権利条約のロシア政府批准による近代化に注目するとともに、障害者の雇用との関連にも触れたい。

【指定討論者の趣旨】

1994年のユネスコ「サラマンカ宣言」から20年という節目において、各国の特別ニーズ教育、インクルーシブ教育の展開において、そのプロセスと内包する課題について、各国の独自性と各国にまたがる共通性について、何がインクルーシブ教育を規定するのかという視点から実態調査を軸に討論したい。

（文献）

黒田学・平沼博将・益田弥生(2013)ミラノ発 障害者のオーケストラ「アレグロモデラート」、福祉のひろば, 総合社会福祉研究所。

黒田学・バユス・ユイス・小西豊・仲春奈・荒木穂積・平沼博将・荒木美知子(2013)スペイン・カタルーニャ自治州における障害児教育・福祉に関する調査研究, 立命館産業社会論集, 49-2。

荒木美知子・小西豊・小西文子(2012)ロシア・モスクワの障害児教育を訪ねて(上・下), 人間発達研究所通信, 129, 130。

黒田学・小西豊・小西文子(2011)ロシア・サンクトペテルブルグの障害児教育を訪ねて, 人間発達研究所通信, 125,8-13。

付記: 本研究は、科学研究費補助金・基盤研究(A)「特別なニーズをもつ子どもへの教育・社会開発に関する比較研究」(課題番号 23252010、平成 23 年度～平成 27 年度)としてすすめられている。

(KURODA Manabu, HIRANUMA Hiromasa, KONISHI Yutaka, SAKAI Kiyoyasu)